

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書
工業	陶磁器デザイン	2	2	セブミック	選択	デザイン技術 海文堂

1. 学習の到達目標

<p>(1) 下絵・上絵・デザイン計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 素焼素地への下絵付工程を通して、その手順の理解と技術の習得をはかる。 2. 本焼成後の素地への上絵付を行うことにより、トータルとしての染錦について理解する 3. 伝統的な地紋の作図を通して、それらの図法の理解と実物（素地）への下絵付けと上絵付けを行なう。 <p>(2) 陶磁器製品のデザインや文様作図、商品企画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 陶磁器文様によく用いられる幾何学紋様を知り、描くことを通して、観察力や表現力を身につける。 2. 大皿に自ら文様やデザインを考案し、文様作図することにより、製品デザインの手順を理解する。 3. 実用性のあるオリジナルパターンデザインを考案すること、あるいは地紋文様の組み合わせなどにより、魅力ある商品を企画する力を身につける。

1. 学習の評価

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の基準	絵付けや文様・デザイン企画に興味、関心を持ち意欲的に取り組み、実践的な態度を身につける。	自ら考え、基礎的な知識・技術はもとより、応用的な知識・技術も用いて適切に判断し、創意工夫する能力を身につける。美的感覚を養い、表現することができる。	陶磁器デザインとしての基礎的な技術はもとより、さらに応用的、実践的な技術を習得することができる。	絵付けやデザイン考案・商品企画の応用的な技術を身につけ、実践的な能力を養い陶磁器の伝統的加飾の技法を理解することができる。
評価の方法	授業態度、課題、制作品などの提出物の状況などを総合的に判断して評価します。			

2. 教科からのメッセージ

<p>陶磁器デザインは実際に素焼きの素地に下絵付けを施した後上絵付けを行います。有田の磁器の染め錦の制作を行うこととなります。また、陶磁器製品のデザインや地紋作図や商品企画の単元においては、文様の作図力や商品企画力をつける事を目指しています。</p>

年間指導計画 科目名 陶磁器デザイン 2単位 2学年

目標	陶磁器をデザインする上で必要な伝統的加飾に関する基礎的な知識と技術を習得させ、実際に創造し応用する能力と態度を育てる。
----	---

	学習項目	主な学習内容
前期	下絵技法 (オリジナル大皿制作)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 紙上でデザイン計画を行い、実際の絵付けの計画をする。 2. 筆の特徴を理解し、取り扱い方を習得する。 3. 下絵の具（ゴス）の特徴を理解し、技術の習得をする。
後期	上絵技法 ・鍋島文様皿	<ol style="list-style-type: none"> 1. 筆の特徴を理解し、取り扱い方を習得する。 2. 器物の用途を理解し、平面構成を制作する。 3. 上絵の具の特徴を理解し、技術の習得をする。

書式変更: フォント : Century, 10.5 pt